

19秋季闘争 労働者・府民の くらし改善を



府庁周辺をパレードし、昼休み中の職員や通行する人たちにアピールしました

10月から大阪府の最低賃金は28円の引き上げで、964円になりました。府内各地で、年度途中の時間給の引き上げがされています。一方、消費税の10%増税で、生活はよくなっていません。さらに、福祉・医療・介護・教育の制度改悪が、府民のくらしをより悪い方向へ向かわせています。

大阪自治労連も参加する府民要求連絡会は、府議会開会日の9月26日に早朝宣伝、昼休みパレードを行い、「カジノより医療、福祉を」「カジノより教育を」「森友疑惑の徹底説明を」と府民によびかけました。



昼休み集会は、各団体より府への訴えがありました(大阪城公園)

九州北部豪雨災害、台風15号・19号被災者救援カンパをよびかけます

8月末に九州北部や中国地方の一部を襲った豪雨災害、また、翌9月の台風15号の強風と雨では、千葉県南部を中心に広域停電が発生し長期化しました。そして今回、台風19号は広範囲に甚大な被害をもたらしました。

自治労連は救援カンパに取り組んでいます。詳しくは職場の労働組合に問い合わせください。



9月末頃、災害ゴミが集積される君津市清掃工場



大阪自治労連 執行委員長

有田 洋明さん

プロフィール

- 1981年4月 大阪府庁入職
- 1990年10月 大阪府職労青年部長／大阪自治労連青年部副部長
- 1995年10月 大阪府職労執行委員
- 1999年10月 大阪府職労書記長
- 2011年10月 大阪府職労副執行委員長
- 2013年10月 大阪府職労執行委員長／大阪自治労連特別執行委員
- 2019年9月 大阪自治労連執行委員長

9月13日、14日の大阪自治労連第32回定期大会で新たに執行委員長に選任された有田洋明さんに、自治体労働者としての思いや今後の抱負について語ってもらいました。

蓄積されてきた大阪府の防災力を実感した21号台風

高校を卒業してすぐ、機械職として大阪府職員に。配属先は西大阪治水事務所でした。仕事は、河川・下水施設などの設計・施工・監督。維持管理は市町村なので、市町村の職員とも一緒に仕事をしました。また、水防や災害対策も主な業務です。

維新府政により人員は減らされていますが、昨年の台風21号では、全水門を閉じ、ポンプを動かす、海抜の低い地域でも浸水を免れたのはすごいことです。これまで積み上げてきた技術や経験により、災害対応の水準はまだまだ高いと感じました。

役員としての転機は 阪神・淡路大震災

青年部役員を卒業し、支部役

員だった1995年1月に阪神・淡路大震災が発生。府職労としても被災地支援として、炊き出し・救援物資の手配などの拠点を若屋市職労の組合事務所構えました。その責任者として約1ヵ月間、仲間と支援活動をしたことが組合役員としての転機になったように思います。

趣味はダイビング 今後も続けていきたい

30歳を過ぎてから、組合の行事ではじめてダイビングのライセンスをとり、以後25年続けています。海の美しさはもちろん、仕事以外の仲間とも出会え、他愛のない話をするのを毎回楽しみにしています。

歴史や組合員の力を基に 夢と希望をもってすすもう

定期大会での討論や単組の大



「大阪府職労スキューバダイビングツアー」で仲間と沖縄・宮古島にて

会によばれる中で、運動を継承していく大切さと、全国や大阪でのたたかひの中心的役割を大阪自治労連が担わなくてはならないと再認識しました。また、住民共同なくして、維新型政治の下での要求の前進はありえないことも実感しています。

委員長になって、不安よりも、各単組や職場の組合員一人ひとりが力を発揮できれば、すごい運動ができるのでは...という期待の方が大きいです。自治体労働者としてのプライド、そして夢と希望をもって前向きにがんばる決意です。